

風力、太陽光、そして、
さまざまな自然エネルギーを
めざして…

さまざまな自然エネルギーを めざして…

温泉熱発電所と小水力発電所の 事業を熊本県小国町「ローカル・パワー」と 連帶してすすめます！！

■「3. 11」の福島第一原発事故をきっかけに、多くの市民が日頃何気なく使っていた電気やエネルギーのことを真剣に考えるようになり、「原発の電気は使いたくない」「自然エネルギーの電気を使いたい」という思いが強くなっています。そして、全国的に自分たちの手で電気をつくり出そうという動きが高まっています。

■グリーンコープが、自分たちの使う電気を自分たちでつくり出そうと動き出し、2013年9月に一基目の神在太陽光発電所（約1MW）を作りました。そして、宮崎県国富町に2基目の深年太陽光発電所（約1.5MW・2016年3月竣工予定）が実現することになっています。そのほか、グリーンコープの施設（物流センターや単協デポ）の屋根にも50kWの太陽光パネルが設置されています。

■当初は、「風力もしくは太陽光」による市民発電所を作りたいと調査をすすめてきました。しかし、政権が変わり、国のエネルギー政策が「脱原発」から「原発再稼働」へ変わり、また、再生可能エネルギー固定買取制度が見直され、「太陽光」や「風力」に対し規制がかかるようになりました。そこで、風力や太陽光以外の自然エネルギーの可能性を探り調査をすすめてきました。

■このたび、熊本県阿蘇郡小国町の地域住民有志が立ち上げた「ローカル・パワー株式会社」との杖立温泉熱発電所と馬洗瀬(もうらせ)農業用水発電所を共同で建設することになりました。今後、小国町地域の人たちと交流も始まることになります。

杖立温泉の中にある温泉源
ここに発電所を作ります。

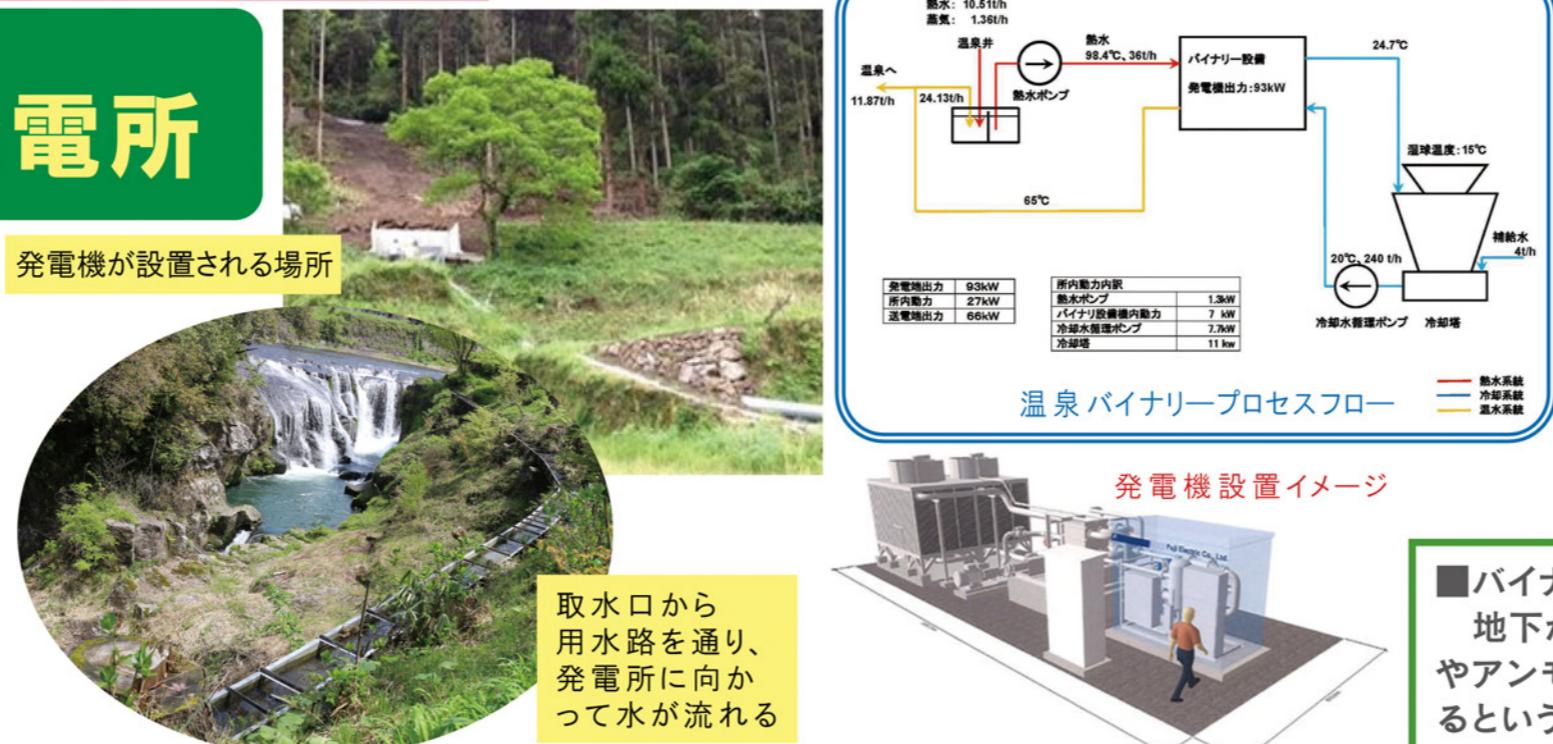


もうらせ 馬洗瀬農業用水発電所

小国町の農業用水を活用した小水力発電事業。小国町の補助事業として用水路整備され、そこに発電機を設置します。

■小水力発電(1000kW以下)って?
大規模ダムなど必要なく、「水の流量」と「落差」があれば発電可能。一般河川はもちろん、農業用水路、上水道施設、下水処理施設など日本中に潜在的な可能性があると言われている。固定買取価格は税抜34円。設備利用率は50~60%と高く、また出力変動が少なく太陽光よりも大きな電力量を発電すると言われている。

小水力は地域密着型の発電所であり、地域分散型のエネルギーとして、「3.11」以降、注目がされるようになってきた。



■ローカル・パワー株式会社 ■

元小国町町長だった宮崎さんをはじめ、地域に貢献したいと思う有志が集まって立ち上げられた団体

経営理念…小国町の自然や人的資源を活用し活気ある地域を創ること。
主な事業…中小水力・地熱・太陽光などの発電事業、農林産物の生産・加工・販売。

- ・杖立温泉(熊本県小国町)旅館組合のみなさんの了解を得て、温泉源にバイナリー発電機を設置し、発電所を建設することになりました。(出力は 93kW)
- ・温泉地に湧き出る温泉水(100℃程度)の熱を利用してバイナリー発電をすると、電気を得られると同時に、高温のため冷まさなければ使えなかつた温泉水をそのまま浴用に利用できるという一石二鳥のメリットがあります。

■ バイナリー発電とは…

地下から取り出した蒸気・熱水を使って水より沸点の低い液体（ペンタンやアンモニア水など）を加熱・蒸発させ、その蒸気でタービンを回して発電するというしくみ。加熱源系統と媒体系統の二つ（binary）の熱サイクルを利用なのでこの名で呼ばれている。地熱発電と比較的低い温泉水を活用する方法（温泉バイナリー発電）がある。

温泉バイナリー発電は、地中深く掘削する必要がない。固定買取価格制度でも15年買取期間が保障（買取価格は税抜40円）されており、太陽光や風力のように電力会社からの規制なく、額面の出力量は小さくても年間の発電量は大きく安定していると言える。

「グリーン電力出資金」に
ご協力ください!!

「原発のない未来をつくりたい!」 市民発電所づくりへの 出資のご協力をお願いします!

原発推進一辺倒の現政権や大手電力会社の自然エネルギーに対する規制に、グリーンコープの市民発電所づくりも影響を受けていないとは言えません。国や電力会社の動きとは反対に市民は「原発はいらない」「原発の電気は使いたくない」という思いをずっと持ち続けています(3月の世論調査の結果は再稼働反対70.8%、福島第一原発事故と同じ規模の事故が発生すると懸念するのは73.8%)。そのような中で、グリーンコープは現在、自然エネルギーを進めている団体と共同で自然エネルギーによる発電所づくりを追求しているところです。

また、2016年には電力の自由化の第二段階である「電力の小売完全自由化」によって、私たちも電気を選ぶことができるようになります。そのために、グリーンコープ(グリーン・市民電力)も電気の供給業者(特定規模電気事業者=PPS)になって、組合員に安全・安心して使える電気を届けようという方針を持って調査をすすめています。

グリーンコープでできること、グリーンコープだけではなく他団体と連帯してできること、さまざまな可能性を追求して、組合員の思いや願いに応えていきたいと考えます。



豊かな自然がエネルギー源です



5月、杖立温泉郷のこいのぼりは有名!



自然エネルギーの
電気を使いたい!

福島第一原発の壊れた
原子炉や溶けた核燃料は
どうなっているの?

3月中旬、宇宙線が大気に衝突して
生じる「ミュー粒子」を利用して1号機の内
部を透視しました。結果、核燃料があるは
ずの場所になく、溶け落ちてしまっていたこ
とが確認されたそうです。

4月10日には、1号機の格納容器内部に調査のためのロボットが投入されました。しかし途中で壊れてしまったというニュースが流れました。ロボットが捉えた内部の様子が公表されましたが、壊れたロボットは内部に残されたまま。壊れた原因は極めて高い放射能に晒されたからなのか、定かではありません。東電はそれが理由ではないと言っているようですが、ただ人が入れない炉内。またロボットが投入され、そしてまた壊れるのでしょうか。

「グリーンコープ・グリーン電力出資金」申込書

コース _____

班名 _____

組合員番号 _____

組合員名 _____

① グリーン電力出資金の総額	0 0 0 0 円
② 出資方法	一括
③ 出資開始月 (○をつけて下さい)	●今月から ●来月から ●()月から

■分割の場合は、「1回の出資金額」と「出資回数」を記入してください。

1回の出資金額	0 0 0 円
出資回数	回

※事務局記入欄

受付日		受付担当者名		グリーン電力出資金管理 No.	
-----	--	--------	--	-----------------	--

《記入例》

① グリーン電力出資金総額	5 0 0 0 0 円
② 出資方法	一括
③ 出資開始月 (○をつけて下さい)	●今月から ●来月から ●()月から

■分割の場合は、下記の「出資金額」「出資回数」欄に記入してください。

1回の出資金額	2 0 0 0 円
出資回数	2 5 回

※「グリーン電力出資金」の呼びかけにあたって

- ①グリーン電力出資金は、自然エネルギーによる発電設備や市民発電所の建設、そのための調査研究に使われます。
- ②資金の運用は、一般社団法人グリーン・市民電力に役員を派遣して、財務状況などを確認していきます。
- ③万が一、一般社団法人グリーン・市民電力が倒産するような場合は、損失の一部を生協が補てんしなければならない可能性があります。そのようなことがないように、一つひとつの事業について、グリーンコープで確認していきます。
- ④出資開始から10年間据え置きをお願いしています。
(脱退や減資が必要な場合は、担当者にご連絡ください。)

